

研究会の進め方について（案）

1 検討内容等

- (1) 地上テレビ放送等の完全デジタル化が視野に入った現在、次世代（第1フェーズ：2011～2015年、第2フェーズ：2015～2025年頃）に期待される放送利活用イメージを特に技術面から展望し、その実現に向け、以下の事項についてとりまとめる。
 - ① 次世代放送に期待されるシステムイメージ
 - ② 次世代放送の実現に不可欠な基盤技術、要素技術と開発目標時期
 - ③ 技術開発に当たっての諸課題及び課題を克服していくための方策
- (2) 上記①に関しては、平成13年にまとめられた報告の成果を基礎としつつ、以降、融合が進展してきている通信・放送両面での内外の研究開発動向のみならず、高齢化社会の進展等の社会的ニーズも考慮しつつ、システムイメージを描く。
- (3) 上記②に関しては、①のシステムイメージをもとに、具体的に開発すべき技術及びそのスケジュール、目標レベルを明確化していくとともに、開発する技術間の関連性等を含めたシステム開発の全体像を俯瞰できる形でとりまとめる。
- (4) 上記③に関しては、放送及び関連通信分野の研究開発の取組現場等において、特に問題となっている課題（例えば、IP技術、人間工学技術等研究開発領域の拡大、特許対策と国際連携協力の重要性の拡大、研究開発人材確保の困難性、等々）をとりまとめるとともに、その克服のための産学官の役割分担や連携体制の在り方について具体的な提言をとりまとめる。

2 検討スケジュール

- 平成18年9月27日（水）
 - ・ 最近の技術動向、諸外国の研究開発動向について
- 平成18年11月
 - ・ 次世代放送に期待されるシステムイメージについて
 - ・ 専門家へのニーズ調査結果報告
- 平成19年1月
 - ・ 次世代放送の実現に不可欠な技術等について
 - ・ 一般へのニーズ調査結果報告
- 平成19年2月
 - ・ 技術開発に当たっての諸課題・課題克服方策について
- 平成19年3月以降
 - ・ 報告書案について